

政策策定ゲームを用いた まちづくり町民ワークショップ

令和8年2月

国立大学法人大阪大学大学院工学研究科附属フューチャーイノベーションセンター
株式会社北海道二十一世紀総合研究所

従来の総合計画策定に係る住民意見聴取

- ①アンケート調査（サンプル多）
- ②グループインタビュー（サンプル少）

二つの課題

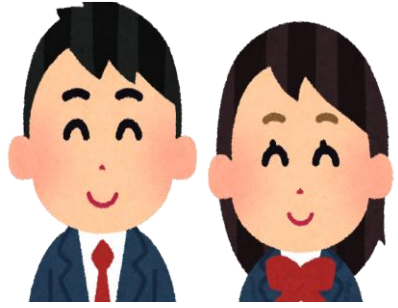
課題 1：現状における視線・視点が優先されやすい

現在直面している課題を優先しがち

将来顕在化するであろう重要な問題を先送り

将来の社会経済環境の変化を考慮しきれない

課題2：「自分ごと」としてとらえづらい



17歳

25年後

42歳



30歳

25年後

55歳



65歳

25年後

90歳

「進学・就職先によってどうなるか・・・」

「転勤もあるし、結婚相手によっては・・・」

「そもそも健在かどうか・・・」

「無責任になるようなことは言いにくいし・・・」



南幌に住んでいない可能性

「自分ごと」としてとらえづらい

発言にブレーキ



17歳

17歳



30歳

30歳



65歳



65歳

仮想将来世代の設定

① 25年後も現在の年齢・立場のまま



② 25年後の世界を想像



例：

- 2028年ロサンゼルスオリンピック開催
- 2030年丘珠空港滑走路延長（長距離路線）
- 2038年北海道新幹線札幌延伸
- 自動運転実用化
- 空飛ぶ自動車の登場
- 人口減少・少子高齢化進行
- ・・・



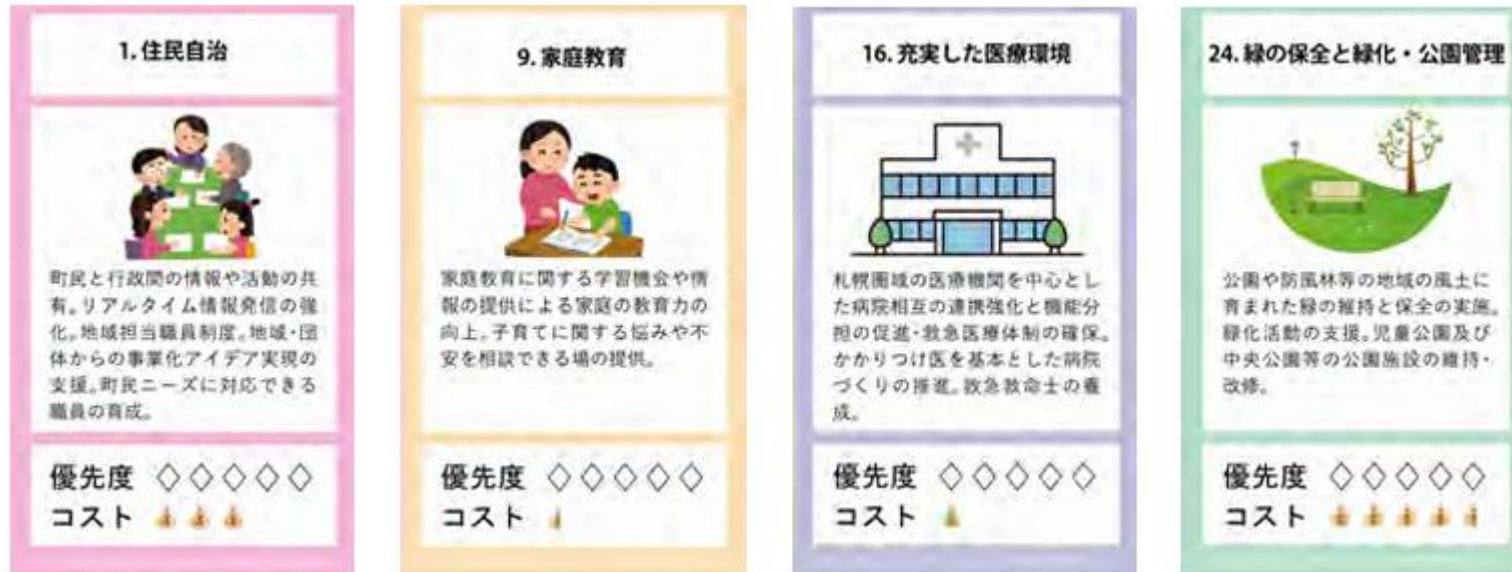
② 25年後の世界の視点から「25年前にやっておくべきだったこと」を考える

南幌住民ワークショップ

実施日：令和7年11月9日（日）

午前の部：一般町民15名（中学生4名含む）
午後の部：一般町民10名

- ①政策カードの優先度を記入
- ②コストを考慮しながら重要と考える施策を選択
- ③これを現在世代と仮想将来世代間で個別に実施両者を比較、議論
- ④グループごとに結果を発表



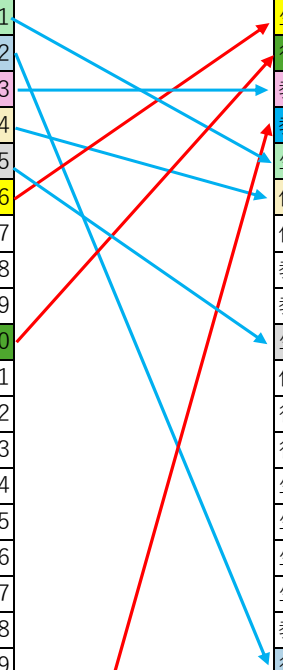
難しく考えすぎず
ゲーム感覚で

中学生も参加

フューチャーデザイン（仮想将来世代に基づく検討） 南幌町民WS結果より

現在世代				
分類	施策番号	施策	度数	順位
生活環境	N31	広域交通網の整備	4.6	1
行財政・経済・産業	N07	にぎわいのある商店街	4.2	2
教育・文化	N11	学校教育	4.1	3
保健福祉・医療	N19	母子保健	4.0	4
生活環境	N29	消防・防災・防犯	4.0	5
生活環境	N28	治水対策・水環境	3.8	6
保健福祉・医療	N23	児童福祉	3.7	7
生活環境	N26	雪に強い生活環境づくり	3.7	8
教育・文化	N10	農業を通じた学習機会	3.6	9
行財政・経済・産業	N05	農業・農村環境	3.5	10
保健福祉・医療	N16	充実した医療環境	3.5	11
生活環境	N24	緑の保全と緑化・公園管理	3.5	12
行財政・経済・産業	N03	行政改革	3.5	13
教育・文化	N14	スポーツ・レクリエーション活動	3.4	14
教育・文化	N09	家庭教育	3.4	15
行財政・経済・産業	N01	住民自治	3.2	16
教育・文化	N13	生涯学習・社会教育	3.1	17
生活環境	N30	安全・安心・便利な交通	3.0	18
行財政・経済・産業	N06	活力ある産業の育成	3.0	19
行財政・経済・産業	N08	魅力ある観光づくり	3.0	20
教育・文化	N12	国際社会で活躍する人材育成	2.7	21
行財政・経済・産業	N04	広域行政	2.7	22
行財政・経済・産業	N02	財政運営	2.7	23
保健福祉・医療	N17	成人保健	2.7	24
保健福祉・医療	N20	高齢者支援（暮らす・地域包括ケアシステム）	2.7	25
保健福祉・医療	N22	障がい・精神福祉	2.7	26
生活環境	N25	豊かで快適な住宅・住環境づくり	2.5	27
保健福祉・医療	N21	高齢者支援（社会参加・生きがいづくり）	2.5	28
教育・文化	N15	芸術・文化活動	2.1	29
生活環境	N27	資源循環型のライフスタイルを育む環境づくり	1.8	30
保健福祉・医療	N18	感染症予防	1.8	31

仮想将来世代				
分類	施策番号	施策	度数	順位
生活環境	N28	治水対策・水環境	4.2	1
行財政・経済・産業	N05	農業・農村環境	4.0	2
教育・文化	N11	学校教育	3.9	3
教育・文化	N15	芸術・文化活動	3.6	4
生活環境	N31	広域交通網の整備	3.5	5
保健福祉・医療	N19	母子保健	3.5	6
保健福祉・医療	N23	児童福祉	3.5	7
教育・文化	N10	農業を通じた学習機会	3.4	8
教育・文化	N14	スポーツ・レクリエーション活動	3.4	9
生活環境	N29	消防・防災・防犯	3.4	10
保健福祉・医療	N16	充実した医療環境	3.2	11
行財政・経済・産業	N01	住民自治	3.2	12
行財政・経済・産業	N04	広域行政	3.2	13
生活環境	N27	資源循環型のライフスタイルを育む環境づくり	3.2	14
生活環境	N26	雪に強い生活環境づくり	3.0	15
生活環境	N24	緑の保全と緑化・公園管理	3.0	16
生活環境	N30	安全・安心・便利な交通	3.0	17
教育・文化	N12	国際社会で活躍する人材育成	3.0	18
行財政・経済・産業	N07	にぎわいのある商店街	2.8	19
行財政・経済・産業	N03	行政改革	2.8	20
行財政・経済・産業	N06	活力ある産業の育成	2.8	21
行財政・経済・産業	N02	財政運営	2.8	22
教育・文化	N13	生涯学習・社会教育	2.7	23
行財政・経済・産業	N08	魅力ある観光づくり	2.7	24
教育・文化	N09	家庭教育	2.6	25
保健福祉・医療	N17	成人保健	2.5	26
生活環境	N25	豊かで快適な住宅・住環境づくり	2.4	27
保健福祉・医療	N21	高齢者支援（社会参加・生きがいづくり）	2.3	28
保健福祉・医療	N18	感染症予防	2.3	29
保健福祉・医療	N20	高齢者支援（暮らす・地域包括ケアシステム）	2.0	30
保健福祉・医療	N22	障がい・精神福祉	2.0	31



フューチャーデザイン（仮想将来世代に基づく検討） 南幌町民WS結果より

分類	施策番号	施策	現在世代		仮想将来世代		平均	
			度数	順位	度数	順位	度数	順位
生活環境	N31	広域交通網の整備	4.6	1	3.5	5	4.1	1
生活環境	N28	治水対策・水環境	3.8	6	4.2	1	4.0	2
教育・文化	N11	学校教育	4.1	3	3.9	3	4.0	3
行財政・経済・産業	N05	農業・農村環境	3.5	11	4.0	2	3.8	4
保健福祉・医療	N19	母子保健	4.0	4	3.5	6	3.8	5
生活環境	N29	消防・防災・防犯	4.0	5	3.4	10	3.7	6
保健福祉・医療	N23	児童福祉	3.7	7	3.5	7	3.6	7
教育・文化	N10	農業を通じた学習機会	3.6	9	3.4	8	3.5	8
行財政・経済・産業	N07	にぎわいのある商店街	4.2	2	2.8	19	3.5	9
教育・文化	N14	スポーツ・レクリエーション活動	3.4	15	3.4	9	3.4	10
保健福祉・医療	N16	充実した医療環境	3.5	12	3.2	11	3.3	11
生活環境	N26	雪に強い生活環境づくり	3.7	8	3.0	15	3.3	12
生活環境	N24	緑の保全と緑化・公園管理	3.5	13	3.0	16	3.3	13
行財政・経済・産業	N03	行政改革	3.5	10	2.8	20	3.2	14
行財政・経済・産業	N01	住民自治	3.2	16	3.2	12	3.2	15
生活環境	N30	安全・安心・便利な交通	3.0	20	3.0	17	3.0	16
教育・文化	N09	家庭教育	3.4	14	2.6	25	3.0	17
教育・文化	N13	生涯学習・社会教育	3.1	17	2.7	23	2.9	18
行財政・経済・産業	N06	活力ある産業の育成	3.0	18	2.8	21	2.9	19
行財政・経済・産業	N04	広域行政	2.7	23	3.2	13	2.9	20
教育・文化	N15	芸術・文化活動	2.1	29	3.6	4	2.9	21
教育・文化	N12	国際社会で活躍する人材育成	2.7	21	3.0	18	2.9	22
行財政・経済・産業	N08	魅力ある観光づくり	3.0	19	2.7	24	2.8	23
行財政・経済・産業	N02	財政運営	2.7	22	2.8	22	2.8	24
保健福祉・医療	N17	成人保健	2.7	24	2.5	26	2.6	25
生活環境	N27	資源循環型のライフスタイルを育む環境づくり	1.8	31	3.2	14	2.5	26
生活環境	N25	豊かで快適な住宅・住環境づくり	2.5	28	2.4	27	2.5	27
保健福祉・医療	N21	高齢者支援（社会参加・生きがいづくり）	2.5	27	2.3	28	2.4	28
保健福祉・医療	N20	高齢者支援（暮らす・地域包括ケアシステム）	2.7	25	2.0	30	2.3	29
保健福祉・医療	N22	障がい・精神福祉	2.7	26	2.0	31	2.3	30
保健福祉・医療	N18	感染症予防	1.8	30	2.3	29	2.1	31

- ① 仮想将来世代の意見を次期計画策定時に取り入れていく（現在世代とのバランス考慮、前項平均）
- ② 同様のWSを将来的にも実施していくことで、次期計画策定にも役立てていく
- ③ ①、②により現在世代と将来世代の意見双方を網羅した計画策定が可能となる